

年 組 名前:

義務教育学校 来春設置へ

山梨市が県内初「効果確認できた」

ズーム 義務教育学校 小中学校9年間の義務教育を一貫して行う。系統的な教育の実現や、中学進学時に不登校が増える「中1ギャップ」などの課題解消を目的に文部科学省が2016年度に制度化した。地域の実情に応じて学年の区切りを「4・4・1」「5・4」など柔軟に変更できるのも特徴。24年度の学校基本調査によると、全国に義務教育学校は238校。山梨県内は未設置。

市教委によると、9月定例市議会に学校設置条例の改正案を提出する方針。26年度の義務教育学校の開校時は、笛川小・中の校舎を併用する「分離型」としてスタートする。早ければ28年度にも、一

山梨市牧丘町蓮平の笛川小と笛川中を統合し、新たに小中学校9年間の義務教育を一貫して行う「義務教育学校」について、市が2026年度に設置する方針を固めたことが22日、市教委への取材で分かった。25年度から試行を始めていたが、「児童生徒の反応がよく、教育効果が確認できた」と判断した。県教委などによると、義務教育学校が設置されれば県内初となる。

〈山本就〉

つの校舎に集約する「一体型」への移行を目指す。笛川中の校舎を改修や増築して利用することをベースに方向性を決

める方針。今後は市教委職員や両校の管理職、学校運営協議会、PTAの役員らでつくる設置検討委員会、学校行事や教育課程などについても詳細な検討を進めていく。竹川和彦教育長は「児童生徒、地域にとって魅力ある、多くの教育的価値を創出できる学校にしていきたい」と話している。

25年度から義務教育学校の試行を始めた笛川小・中は、

中学の教諭が小学高学年の一部科目の授業を受け持っているほか、小5、6年と中1、2年による課題解決型の合同授業をしている。担任教諭とは別に、小学1、2年と3、4年の児童を柔軟に指導・支援することを目的に「低学年主任」と「中学年主任」を配置。市教委は「基礎学力の定着などよりきめ細やかな対応ができる」としている。

問1

山梨市が設置する方針を固めた「義務教育学校」で、統合する学校名を答えてください。

..... と を統合

問2

「義務教育学校」の設置検討委員会は、どのようなメンバーで構成されていますか。

.....
.....

問3

山梨市の教育長は、「義務教育学校」によって、どのような学校にしたいと話していますか。

.....
.....

問4 あなたは、「義務教育学校」について、どのように考えますか。自由に答えてください。

.....
.....

(2025年7月23日付 山梨日日新聞 24面)